

# 街の活力は 自立と創造から

# あのまちこの街



再開発ビル「エーワンビル」(右)の1階に「城山工房」が入居している。

## 釧路城山商店街 振興組合(釧路市)

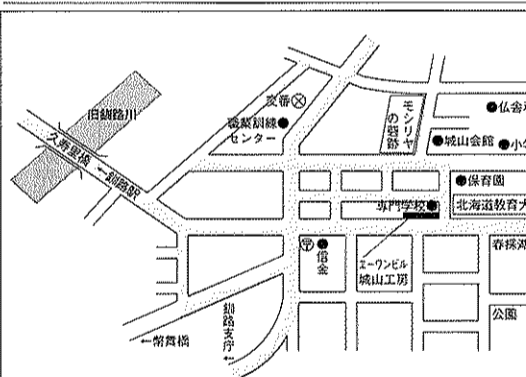


釧路市は、本年十月、旧釧路市、阿寒町、音別町が合併し、新たな釧路市となった。釧路市も中心市街地の空洞化が著しく、JR釧路駅前にも空き店舗が目立つ。来夏には丸井金井が閉店する予定。今取り上げる城山商店街は、JR釧路駅から南西に徒歩二十分ほど。旧釧路川河口の幣舞橋から二番目の久寿里橋を渡ったところにある。

地区内にアイヌ民族の時代から残る国指定史跡「モシリヤの砦跡(チヤシ)」は、壮観。少し足を伸ばすと天然記念物ヒブナが生息する春採湖があり、都市中心部とは思えない風景が広がる。湖を見下ろす釧路市立博物館は、釧路の考古学や歴史を

主テーマとする、代表的な地方博物館である。人口減少と高齢化の著しい城山地区。商店街も空洞化が進む。一方、同商店街は残る地域資源を活かしたユニークな事業展開で知られつつある。その成果は、新たな店舗の進出など、徐々に現れてきた。

平成十一年、さらに進行する高齢化に対応し、戦略的に商店街の生き残りを図る事業を開始した。その一つが「シルバー

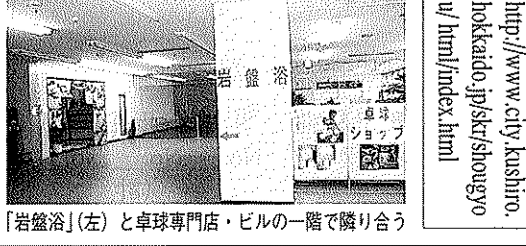


「宅配サービス」の名称、平成二年(任意)設立、平成四十八年(任意)所在地、釧路市城山一丁目六番十八号、電話、〇一五四四二二一、二六五五

「宅配サービス」の実験を開始。翌十二年、一城山商店街にこの宅配サービスとして事業化した。現在、参加店は十八店ほど。理容店など「宅配サービス」も含む。ほぼ毎月「宅配

城山地区には、北海道教育大学釧路校がある。大学側も、独立行政法人化、行財政改革の波を受けて、地域との関係強化を模索している。草が伸び放題だった大

放、城山工房で人を集めて草刈りを行った。さらにパークゴルフ場、ビオトープ、菜園などの設置を三年計画で進める。幼児、大学生、高齢者まで、地域の人材を動員し、組織化する試みである。



「岩盤浴」(左)と卓球専門店・ビルの一階で隣り合う

向のほか、政策的な人口の郊外移転、城山の幹線道路であった国道のルート変更、近隣の大型店の出店など、城山地区に固有の要因も重なった。この結果、商店数・会員数もピーク時より大きく減少。現在も空き店舗や空き地が目立ち、商店

街というには商店の密度が低い。一昨年には中心となる十字路の角地にあった総合スーパーが閉鎖。新鮮食品を扱う店が極めて限られるという危機的状況にもなった。また、非加盟店の増加、後継者難にも悩む。

マに手作りのイベントを開催。やがて釧路市の秋のイベントの代表として定着した。準備に人手がかかり過ぎるため平成九年を最後に終了したが、「花いっぱい市民運動」の一環としてその成果は残った。また、住民連携の伝統はその後の展開につながるものであった。

一方、地味な広報活動として、昭和六十年、「城山から版」を創刊。毎年二、三回のペースで今も続く。B4両面の印刷で、イベント案内・個店の紹介・広告といった内容。手作り感が強く、親しみが持てる。主に新聞折り込みで配布されている。

平成十三年、商店街中央部分の空き店舗を利用して商店街事務局、事業拠点として「城山工房」を設置(その後移転)。ほぼ同時に、現在の商店街の自主事業とも言える「達人倶楽部」を立ち上げた。料理・木工・除雪・スポーツ・裁縫・芸能といった様々な特技を持つプロ・アマの地域人材を「達人」として登録するもので、現在は登録者十五名(美人教習六名、全体として高齢者が多く、八十代も目立つ。宅配サービスの出前講習や、除雪サービスを行うこともある。また、年に三、四回の講習会および「達人とお遊

こうした活発な活動の成果が、商店街自体にも新たな発展が見られる。昨年以降、女性専用岩盤浴・卓球専門店といったユニークな店がオープン。また家具店がアウトレットストアとして再生撤退を予定していたクリーニング店が商店街の说得により商店街内で移転オープン。そば店も隣接地に新店舗を建て移転。そのほか、着物リサイクル店、運送代行業、ボラティア団体など、新たな業態の事業所もある。高齢になっても地域で生活し、戸外に出て買い物できる楽しみを持つ

## 「達人倶楽部」で地域人材を動員

### 逆境の中奮闘する元気な商店街 高齢者が生活し続けるまちへ

「元気な商店街」として知られつつある城山商店街。しかし、その取り巻く環境は、「最悪」と言っても過言ではない。釧路市の卸売・小売業・飲食店の事業所数は、ピーク時昭和五十年代後半の約六千に対し、近年は四千台前半にまで減少。一方、平成七年から十三年にかけて、千平方メートル以上の大型店の店舗面積は四十六%の増加。隣接する釧路市も含めると六十%の増加となった。

城山商店街の中心的な商圏「橋南地区」では、卸売・小売業、飲食店の事業所数は昭和五十六年から平成十三年にかけて約

城山地区は、かつては陸路と水路の要衝でもあり、古くから商店が立ち並んでいたという。町内会の中にあつた商店部にかわり、昭和四十八年に「城山商店振興会」を設立。五十二年には「城山商店会」に名称変更。五十九年には青年部を設置。平成二年には、法人化して「釧路城山商店街

振興組合」となった。この間の歩みは、そして現在の状況も、前述のような商業環境の中、決して順調なものではなかった。賑わいのピークはやはり昭和四十年代から五十年代前半であり、その後は徐々に衰退傾向が

といた使命感が醸成されてきた。かくして、青年部を中心に活性化のための行動が続けられた。昭和六十一年秋、「くしるコスモスフェア」を開始。商店街と隣接する鶴ヶ岱公園を舞台に、商店街と近隣町内会で「花と音楽と秋の味覚」をテ

平成十三年、商店街中央部分の空き店舗を利用して商店街事務局、事業拠点として「城山工房」を設置(その後移転)。ほぼ同時に、現在の商店街の自主事業とも言える「達人倶楽部」を立ち上げた。料理・木工・除雪・スポーツ・裁縫・芸能といった様々な特技を持つプロ・アマの地域人材を「達人」として登録するもので、現在は登録者十五名(美人教習六名、全体として高齢者が多く、八十代も目立つ。宅配サービスの出前講習や、除雪サービスを行うこともある。また、年に三、四回の講習会および「達人とお遊

平成十三年、商店街中央部分の空き店舗を利用して商店街事務局、事業拠点として「城山工房」を設置(その後移転)。ほぼ同時に、現在の商店街の自主事業とも言える「達人倶楽部」を立ち上げた。料理・木工・除雪・スポーツ・裁縫・芸能といった様々な特技を持つプロ・アマの地域人材を「達人」として登録するもので、現在は登録者十五名(美人教習六名、全体として高齢者が多く、八十代も目立つ。宅配サービスの出前講習や、除雪サービスを行うこともある。また、年に三、四回の講習会および「達人とお遊

平成十三年、商店街中央部分の空き店舗を利用して商店街事務局、事業拠点として「城山工房」を設置(その後移転)。ほぼ同時に、現在の商店街の自主事業とも言える「達人倶楽部」を立ち上げた。料理・木工・除雪・スポーツ・裁縫・芸能といった様々な特技を持つプロ・アマの地域人材を「達人」として登録するもので、現在は登録者十五名(美人教習六名、全体として高齢者が多く、八十代も目立つ。宅配サービスの出前講習や、除雪サービスを行うこともある。また、年に三、四回の講習会および「達人とお遊



朝市の第一回、再開発ビル前で

「元気な商店街」として知られつつある城山商店街。しかし、その取り巻く環境は、「最悪」と言っても過言ではない。釧路市の卸売・小売業・飲食店の事業所数は、ピーク時昭和五十年代後半の約六千に対し、近年は四千台前半にまで減少。一方、平成七年から十三年にかけて、千平方メートル以上の大型店の店舗面積は四十六%の増加。隣接する釧路市も含めると六十%の増加となった。

城山商店街の中心的な商圏「橋南地区」では、卸売・小売業、飲食店の事業所数は昭和五十六年から平成十三年にかけて約

城山地区は、かつては陸路と水路の要衝でもあり、古くから商店が立ち並んでいたという。町内会の中にあつた商店部にかわり、昭和四十八年に「城山商店振興会」を設立。五十二年には「城山商店会」に名称変更。五十九年には青年部を設置。平成二年には、法人化して「釧路城山商店街

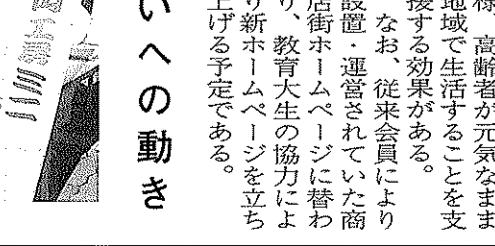
振興組合」となった。この間の歩みは、そして現在の状況も、前述のような商業環境の中、決して順調なものではなかった。賑わいのピークはやはり昭和四十年代から五十年代前半であり、その後は徐々に衰退傾向が

といた使命感が醸成されてきた。かくして、青年部を中心に活性化のための行動が続けられた。昭和六十一年秋、「くしるコスモスフェア」を開始。商店街と隣接する鶴ヶ岱公園を舞台に、商店街と近隣町内会で「花と音楽と秋の味覚」をテ

平成十三年、商店街中央部分の空き店舗を利用して商店街事務局、事業拠点として「城山工房」を設置(その後移転)。ほぼ同時に、現在の商店街の自主事業とも言える「達人倶楽部」を立ち上げた。料理・木工・除雪・スポーツ・裁縫・芸能といった様々な特技を持つプロ・アマの地域人材を「達人」として登録するもので、現在は登録者十五名(美人教習六名、全体として高齢者が多く、八十代も目立つ。宅配サービスの出前講習や、除雪サービスを行うこともある。また、年に三、四回の講習会および「達人とお遊

平成十三年、商店街中央部分の空き店舗を利用して商店街事務局、事業拠点として「城山工房」を設置(その後移転)。ほぼ同時に、現在の商店街の自主事業とも言える「達人倶楽部」を立ち上げた。料理・木工・除雪・スポーツ・裁縫・芸能といった様々な特技を持つプロ・アマの地域人材を「達人」として登録するもので、現在は登録者十五名(美人教習六名、全体として高齢者が多く、八十代も目立つ。宅配サービスの出前講習や、除雪サービスを行うこともある。また、年に三、四回の講習会および「達人とお遊

平成十三年、商店街中央部分の空き店舗を利用して商店街事務局、事業拠点として「城山工房」を設置(その後移転)。ほぼ同時に、現在の商店街の自主事業とも言える「達人倶楽部」を立ち上げた。料理・木工・除雪・スポーツ・裁縫・芸能といった様々な特技を持つプロ・アマの地域人材を「達人」として登録するもので、現在は登録者十五名(美人教習六名、全体として高齢者が多く、八十代も目立つ。宅配サービスの出前講習や、除雪サービスを行うこともある。また、年に三、四回の講習会および「達人とお遊



朝市の第一回、再開発ビル前で

## 人口減少と高齢化進む地域 ソフト事業で商店街活性化

### 空洞化進む地域状況

四十八%の減少。また、城山商店街が存する大川・住吉・城山の三地区の人口は、平成九年の約二千八百から、最近約二千二百まで減少した。



春採湖と市立博物館(左上)

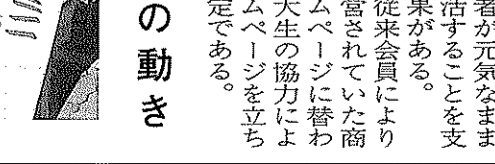
空洞化の危機に抗して  
城山地区は、高齢化も進む。市立病院をはじめ医療機関は充実しており、その点では高齢者の生活に利便性のある地域。自動車や郊外の大型店に行くといった生活習慣のない高齢者にとっては、地域の商店街は生活の生線でもある。このため、商店街の側でも、商店街を消滅させてはならないといった使命感が醸成されてきた。かくして、青年部を中心に活性化のための行動が続けられた。昭和六十一年秋、「くしるコスモスフェア」を開始。商店街と隣接する鶴ヶ岱公園を舞台に、商店街と近隣町内会で「花と音楽と秋の味覚」をテ

平成十三年、商店街中央部分の空き店舗を利用して商店街事務局、事業拠点として「城山工房」を設置(その後移転)。ほぼ同時に、現在の商店街の自主事業とも言える「達人倶楽部」を立ち上げた。料理・木工・除雪・スポーツ・裁縫・芸能といった様々な特技を持つプロ・アマの地域人材を「達人」として登録するもので、現在は登録者十五名(美人教習六名、全体として高齢者が多く、八十代も目立つ。宅配サービスの出前講習や、除雪サービスを行うこともある。また、年に三、四回の講習会および「達人とお遊

平成十三年、商店街中央部分の空き店舗を利用して商店街事務局、事業拠点として「城山工房」を設置(その後移転)。ほぼ同時に、現在の商店街の自主事業とも言える「達人倶楽部」を立ち上げた。料理・木工・除雪・スポーツ・裁縫・芸能といった様々な特技を持つプロ・アマの地域人材を「達人」として登録するもので、現在は登録者十五名(美人教習六名、全体として高齢者が多く、八十代も目立つ。宅配サービスの出前講習や、除雪サービスを行うこともある。また、年に三、四回の講習会および「達人とお遊

平成十三年、商店街中央部分の空き店舗を利用して商店街事務局、事業拠点として「城山工房」を設置(その後移転)。ほぼ同時に、現在の商店街の自主事業とも言える「達人倶楽部」を立ち上げた。料理・木工・除雪・スポーツ・裁縫・芸能といった様々な特技を持つプロ・アマの地域人材を「達人」として登録するもので、現在は登録者十五名(美人教習六名、全体として高齢者が多く、八十代も目立つ。宅配サービスの出前講習や、除雪サービスを行うこともある。また、年に三、四回の講習会および「達人とお遊

平成十三年、商店街中央部分の空き店舗を利用して商店街事務局、事業拠点として「城山工房」を設置(その後移転)。ほぼ同時に、現在の商店街の自主事業とも言える「達人倶楽部」を立ち上げた。料理・木工・除雪・スポーツ・裁縫・芸能といった様々な特技を持つプロ・アマの地域人材を「達人」として登録するもので、現在は登録者十五名(美人教習六名、全体として高齢者が多く、八十代も目立つ。宅配サービスの出前講習や、除雪サービスを行うこともある。また、年に三、四回の講習会および「達人とお遊



朝市の第一回、再開発ビル前で

## 新たな賑わいへの動き

### 新たな賑わいへの動き

なお、城山工房の仕掛人、商店街専務理事小林友幸氏は、教育大助教授を理事長とする地域健康づくりのNPO法人の事務局長を兼務。同法人は高齢者の「健康教室」を、大学体育館等で毎週開催。また防犯活動なども行う。商店街自体の活動ではな

い、が、「達人倶楽部」同人、商店街専務理事小林友幸氏は、教育大助教授を理事長とする地域健康づくりのNPO法人の事務局長を兼務。同法人は高齢者の「健康教室」を、大学体育館等で毎週開催。また防犯活動なども行う。商店街自体の活動ではな

い、が、「達人倶楽部」同人、商店街専務理事小林友幸氏は、教育大助教授を理事長とする地域健康づくりのNPO法人の事務局長を兼務。同法人は高齢者の「健康教室」を、大学体育館等で毎週開催。また防犯活動なども行う。商店街自体の活動ではな

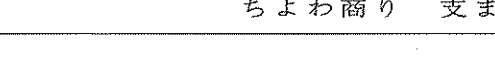
い、が、「達人倶楽部」同人、商店街専務理事小林友幸氏は、教育大助教授を理事長とする地域健康づくりのNPO法人の事務局長を兼務。同法人は高齢者の「健康教室」を、大学体育館等で毎週開催。また防犯活動なども行う。商店街自体の活動ではな

い、が、「達人倶楽部」同人、商店街専務理事小林友幸氏は、教育大助教授を理事長とする地域健康づくりのNPO法人の事務局長を兼務。同法人は高齢者の「健康教室」を、大学体育館等で毎週開催。また防犯活動なども行う。商店街自体の活動ではな

い、が、「達人倶楽部」同人、商店街専務理事小林友幸氏は、教育大助教授を理事長とする地域健康づくりのNPO法人の事務局長を兼務。同法人は高齢者の「健康教室」を、大学体育館等で毎週開催。また防犯活動なども行う。商店街自体の活動ではな

い、が、「達人倶楽部」同人、商店街専務理事小林友幸氏は、教育大助教授を理事長とする地域健康づくりのNPO法人の事務局長を兼務。同法人は高齢者の「健康教室」を、大学体育館等で毎週開催。また防犯活動なども行う。商店街自体の活動ではな

い、が、「達人倶楽部」同人、商店街専務理事小林友幸氏は、教育大助教授を理事長とする地域健康づくりのNPO法人の事務局長を兼務。同法人は高齢者の「健康教室」を、大学体育館等で毎週開催。また防犯活動なども行う。商店街自体の活動ではな



朝市の第一回、再開発ビル前で